

平成29年10月24日公表
(令和7年4月1日最終更新)

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果の公表

札幌市

目 次

1 要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断結果の公表

(1) 要緊急安全確認大規模建築物に係る耐震診断結果総括表（札幌市が所管する区域内の建築物）	1
(2) 耐震診断結果公表	
ア 不特定多数の者が利用する大規模建築物	
① 体育館（一般公共の用に供されるもの）	2
② ボーリング場・スケート場・水泳場その他これらに類する運動施設	3
③ 病院、診療所	4
④ 劇場、観覧場、映画館、演芸場	5
⑤ 百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗	6
⑥ ホテル、旅館	9
⑦ 博物館、美術館、図書館	13
⑧ 遊技場	14
⑨ 飲食店、キャバレー、料理店、ナイトクラブ、ダンスホールその他これらに類するもの	15
⑩ 自動車車庫その他の自動車又は自転車の停留又は駐車のための施設	16
⑪ 保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物	17
イ 避難確保上特に配慮を要する者が利用する大規模建築物	
⑫ 幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園	18
⑬ 小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程・特別支援学校	19
⑭ 老人福祉センター、児童厚生施設、身体障害者福祉センターその他これらに類するもの	26
⑮ 老人ホーム、老人短期入所施設、福祉ホームその他これらに類するもの	27
(3) 附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価	28
(4) 参考 耐震診断結果の見方	30

要緊急安全確認大規模建築物に係る耐震診断結果総括表(札幌市が所管する区域内の建築物)

震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
 いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生じるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

用 途	公表 建築物数	構造耐力上主要な部分の (震度6強から7程度)に対する安全性(注)			耐震改修 工事中
		I	II	III	
		倒壊・崩壊 の危険性 が高い	倒壊・崩壊 の危険性 がある	倒壊・崩壊 の危険性 が低い	
ア 不特定多数の者が利用する大規模建築物					
① 体育館(一般公共の用に供されるもの)	2	0	0	2	0
② ボーリング場、スケート場、水泳場その他これらに類する運動施設	3	1	1	1	0
③ 病院、診療所	10	1	5	4	0
④ 劇場、観覧場、映画館、演芸場	2	0	0	2	0
⑤ 百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗	21	4	1	16	0
⑥ ホテル、旅館	21	9	2	10	0
⑦ 博物館、美術館、図書館	3	0	0	3	0
⑧ 遊技場	1	0	0	1	0
⑨ 飲食店、キャバレー、料理店、ナイトクラブ、ダンスホールその他これらに類するもの	4	4	0	0	0
⑩ 自動車車庫その他の自動車又は自転車の停留又は駐車のための施設	1	1	0	0	0
⑪ 保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物	7	0	0	7	0
イ 避難確保上特に配慮を要する者が利用する大規模建築物					
⑫ 幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園	4	2	0	2	0
⑬ 小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校	89	0	0	89	0
⑭ 老人福祉センター、児童厚生施設、身体障害者福祉センターその他これらに類するもの	1	0	0	1	0
⑮ 老人ホーム、老人短期入所施設、福祉ホームその他これらに類するもの	1	0	0	1	0
合 計	170	22	9	139	0

(注) 1の建築物に構造上独立した部分が複数ある場合などは、安全性の評価が最も低い部分により分類している。建築物毎の詳細は別に示す。

■体育館(一般公共の用に供されるもの)

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	札幌市美香保体育館	札幌市東区北22丁目東5丁目365番地39	体育館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.01 \quad (1.00)$ $C_T \cdot S_D = 0.55 \quad (0.30)$	—	—	平成9年9月耐震改修済
2	北海道立真駒内公園屋内競技場	札幌市南区真駒内公園17番地885	競技場	一般財団法人建築保全センターによる「官庁施設の総合耐震診断基準」	$G_{is} = 1.01 \quad (1.00)$	—	—	平成14年3月耐震改修済 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■ボーリング場、スケート場、水泳場その他これらに類する運動施設

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	サッポロオリンピックボウル	札幌市中央区北1条東12丁目、13丁目2番地1 他	ボーリング場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.57$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.40$ (0.27)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
2	札幌市月寒体育館	札幌市豊平区月寒東1条8丁目287番地10	スケート場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.03$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.37$ (0.30)	—	—	平成15年10月耐震改修済
3	サンコーボウル	札幌市西区琴似4条7丁目666番地1	ボーリング場					
	RC造部分			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.44$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.32$ (0.27)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	S造部分			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.11$ (0.60) $q = 0.47$ (1.00)	未定	未定	

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■病院、診療所

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	医療法人 医仁会 中村記念病院	札幌市中央区南1条西14丁目291番地190	病院					
	高層棟 3階から13階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.44$ (0.22)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 0.968 平成27年9月耐震改修済
	低層棟 3階、4階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.14$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.51$ (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , 平成27年9月耐震改修済
	1階、2階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2009年版)一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.03$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.38$ (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 0.968 平成27年9月耐震改修済
2	医療法人 溪仁会 定山溪病院(本棟)	札幌市南区定山溪温泉西3丁目71番地 他	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.62$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.36$ (0.27)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
3	医療法人社団 静和会 平和病院	札幌市西区平和2条11丁目298番地 2 他	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.57$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.37$ (0.27)	除却 (別地建替)	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
4	医療法人 中山会 新札幌パウロ病院 昭和56年設計棟	札幌市厚別区厚別東2条6丁目24番地497	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.03$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.60$ (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 平成28年2月耐震改修済
5	医療法人 北仁会 旭山病院(C-1棟)	札幌市中央区双子山4丁目1887番地 1 他	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.57$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.33$ (0.27)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
6	公益社団法人 北海道勤労者医療協会 勤医協札幌病院	札幌市白石区菊水4条1丁目7番地 21 他	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.48$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.28$ (0.27)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
7	社会医療法人 孝仁会 札幌第一病院	札幌市西区二十四軒4条3丁目60番地 他	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.50$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.29$ (0.27)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
8	社会医療法人社団 カレスサポロ時計台記念病院 本館	中央区北1条東1丁目2番地3	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.53$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.16$ (0.26)	除却 (別地建替)	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00
9	独立行政法人 国立病院機構 北海道がんセンター 外来診療棟	札幌市白石区菊水4条2丁目1番地	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1977年版)	$I_s/I_{so} = 1.11$ (1.00)	—	—	昭和60年10月耐震改修工事済
10	独立行政法人 国立病院機構 北海道がんセンター 病棟	札幌市白石区菊水4条2丁目1番地	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1983年版)	$I_s/I_{so} = 1.21$ (1.00)	—	—	平成10年3月耐震改修工事済

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■劇場、鑑賞場、映画館、演芸場

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	札幌市教育文化会館(第1期)	札幌市中央区北1条西13丁目5番地 1 他	劇場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.07 \quad (1.00)$ $C_T \cdot S_D = 0.30 \quad (0.30)$	—	—	平成15年3月耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
2	札幌市教育文化会館(第2期)	札幌市中央区北1条西13丁目5番地 1 他	劇場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1997年版)	$I_s/I_{so} = 1.37 \quad (1.00)$ $C_T \cdot S_D = 0.25 \quad (0.23)$	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する 安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	イオン札幌麻生店	札幌市北区北39条西4丁目320-4 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.03 \quad (1.00)$ $C_{Tu} \cdot S_d = 0.57 \quad (0.27)$	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	1階から5階							
	下屋			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.60 \quad (0.60)$ $q = 1.34 \quad (1.00)$	—	—	平成28年6月耐震改修済
2	イオン札幌琴似店	札幌市西区琴似2条4丁目374番地4 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.12 \quad (1.00)$ $C_{Tu} \cdot S_d = 0.65 \quad (0.27)$	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 平成27年6月耐震改修済
3	イオン東札幌店	札幌市白石区東札幌3条2丁目1番地1 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.07 \quad (1.00)$ $C_{Tu} \cdot S_d = 0.61 \quad (0.27)$	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 平成28年7月耐震改修済
4	STV中央ビル	札幌市中央区大通西1丁目11番地 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 1.01 \quad (1.00)$ $C_{Tu} \cdot S_d = 0.44 \quad (0.25)$	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00 平成27年1月耐震改修済
	1階から8階							
	地下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.05 \quad (1.00)$ $C_{Tu} \cdot S_d = 0.59 \quad (0.27)$	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 平成27年1月耐震改修済
5	ガイア北42条店	札幌市東区北42条東7丁目808番地 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.12 \quad (1.00)$ $C_{Tu} \cdot S_d = 0.64 \quad (0.27)$	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 平成28年2月耐震改修済

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する 安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
6	金市館ビル	札幌市中央区南2条西2丁目1番地1 他	店舗					
	1階から8階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.17 \quad (0.60)$ $q = 0.58 \quad (1.00)$	未定	未定	
	地下1階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{so} = 1.94 \quad (1.00)$	—	—	
	地下2階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{so} = 2.81 \quad (1.00)$	—	—	
7	琴似駅前ビル	札幌市西区琴似2条1丁目1他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.68 \quad (1.00)$ $C_{Tu} \cdot S_D = 0.42 \quad (0.27)$	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
8	さっぽろ東急百貨店本館	札幌市中央区北4条西2丁目1番地	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)	$I_s/I_{so} = 1.09 \quad (1.00)$ $C_r \cdot S_D = 0.48 \quad (0.23)$	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
9	札幌ナナイロ	札幌市中央区南2条西4丁目1番地3 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 1.07 \quad (1.00)$ $C_{Tu} \cdot S_D = 0.449 \quad (0.27)$	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00 令和3年1月耐震改修済
10	札幌パルコ本館	札幌市中央区南1条西3丁目5番地1 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1997年版)一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00 \quad (1.00)$ $C_{Tu} \cdot S_D = 0.43 \quad (0.27)$	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 平成24年8月耐震改修済
11	新さっぽろアーケシティサンピアザ (スーパー棟)	札幌市厚別区厚別中央2条5丁目 493番地20	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.12 \quad (1.00)$ $C_{Tu} \cdot S_D = 0.31 \quad (0.27)$	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 平成27年3月耐震改修済
12	新さっぽろアーケシティサンピアザ (専門店棟)	札幌市厚別区厚別中央2条5丁目 493番地20	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00 \quad (1.00)$ $C_{Tu} \cdot S_D = 0.60 \quad (0.27)$	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 平成30年8月耐震改修済
13	新さっぽろアーケシティサンピアザ (百貨店棟)	札幌市厚別区厚別中央2条5丁目 493番地20	店舗					
	1階から6階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 1.16 \quad (1.00)$ $C_{Tu} \cdot S_D = 0.27 \quad (0.23)$	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00
	地下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.03 \quad (1.00)$ $C_{Tu} \cdot S_D = 0.60 \quad (0.27)$	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
14	末廣ビル	札幌市豊平区平岸2条10丁目28番 地	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.10 \quad (1.00)$ $C_r \cdot S_D = 0.66 \quad (0.30)$	—	—	

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する 安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
15	ビヴォ札幌 旧館	札幌市中央区南2条西4丁目11番地 4 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」 (2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.42$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.19$ (0.26)	建替工事	令和6～8年度工事	$Z= 0.9$, $G= 1.0$, $U= 1.00$, $R_t= 1.00$
16	ビヴォ札幌 新館	札幌市中央区南2条西4丁目12番地 15 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」 (2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.46$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.27$ (0.26)	建替工事	令和6～8年度工事	$Z= 0.9$, $G= 1.0$, $U= 1.00$, $R_t= 1.00$
17	丸井今井札幌本店 一条館	札幌市中央区南1条西2丁目11番地 他	店舗					
	1階から10階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建 築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)一般財団法 人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断 基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.45$ (0.27)	—	—	$Z= 0.9$, $G= 1.0$, $U= 1.00$, $R_t= 0.979$ 平成27年11月耐震改修済
	9階・10階 (S造部)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物 の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.74$ (0.60) $q = 1.46$ (1.00)	—	—	平成27年11月耐震改修済
18	丸井今井札幌本店 大通館	札幌市中央区大通西2丁目3番地 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」 (2009年版)	$I_s/I_{so} = 1.12$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.49$ (0.25)	—	—	$Z= 0.9$, $G= 1.0$, $U= 1.00$, $R_t= 0.987$ 平成27年11月耐震改修済
19	三越本館	札幌市中央区南1条西3丁目8番地5 他	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」 (2009年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.46$ (0.25)	—	—	$Z= 0.9$, $G= 1.0$, $U= 1.00$, $R_t= 0.981$ 平成27年11月耐震改修済
20	有限会社高桑ビル	札幌市中央区南1条西1丁目7番地3	店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」 (2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.31$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.19$ (0.26)	未定	未定	$Z= 0.9$, $G= 1.0$, $U= 1.00$, $R_t= 1.00$
21	アルシュビル	札幌市中央区南3条西4丁目12番地 1	店舗	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけ るある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規 定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分 に限る。)に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	—	—	平成29年2月耐震改修済

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■ホテル、旅館

No	建築物の名称		建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する 安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	青山ビル		札幌市中央区南4条西6丁目4番地1 他	ホテル					
	地上階				一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」 (2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.50 \quad (\quad 1.00 \quad)$ $C_{Tu} \cdot S_D = 0.14 \quad (\quad 0.25 \quad)$	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 0.99
	地下				一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンク リート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」 (2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.92 \quad (\quad 1.00 \quad)$ $C_{Tu} \cdot S_D = 0.56 \quad (\quad 0.27 \quad)$	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
2	アパホテル〈札幌〉		札幌市中央区南2条西7丁目10番地1	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」 (2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.75 \quad (\quad 1.00 \quad)$ $C_{Tu} \cdot S_D = 0.26 \quad (\quad 0.26 \quad)$	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00
3	アパホテル〈札幌すすきの駅西〉		札幌市中央区南4条西7丁目1番地1 他	ホテル					
	地上1から8階				一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」 (2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.81 \quad (\quad 1.00 \quad)$ $C_{Tu} \cdot S_D = 0.40 \quad (\quad 0.26 \quad)$	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00
	6階7階の一部				一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物 の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.25 \quad (\quad 0.60 \quad)$ $q = 1.01 \quad (\quad 1.00 \quad)$	未定	未定	
4	アパホテル〈札幌すすきの駅前〉		札幌市中央区南4条西2丁目1番地4 他	ホテル					
	7階から10階				一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンク リート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」 (2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.03 \quad (\quad 1.00 \quad)$ $C_{Tu} \cdot S_D = 0.57 \quad (\quad 0.27 \quad)$	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	1階から6階				一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」 (2009年版)	$I_s/I_{so} = 1.01 \quad (\quad 1.00 \quad)$ $C_{Tu} \cdot S_D = 0.44 \quad (\quad 0.26 \quad)$	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00
5	ANAホリデイ・イン札幌すすきの		札幌市中央区南5条西3丁目7番地1	ホテル			建替工事	令和4年度設計 令和5年度 ～令和7年度工事	
	7階から9階				一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンク リート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」 (2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.61 \quad (\quad 1.00 \quad)$ $C_{Tu} \cdot S_D = 0.35 \quad (\quad 0.27 \quad)$			Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	1階から6階				一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」 (2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.46 \quad (\quad 1.00 \quad)$ $C_{Tu} \cdot S_D = 0.26 \quad (\quad 0.26 \quad)$			Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
6	京王プラザホテル札幌 (高層棟)	札幌市中央区北5条西7丁目2番地1 他	ホテル	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	—	—	
7	京王プラザホテル札幌 (駐車場棟)	札幌市中央区北5条西7丁目2番地1 他	ホテル	建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項第1第二号に定める建築物の耐震診断の方法	$I_s = 0.61 \quad (0.60)$ $q = 1.43 \quad (1.00)$	—	—	平成8年12月耐震改修済
8	京王プラザホテル札幌 (低層棟)	札幌市中央区北5条西7丁目2番地1 他	ホテル	建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項第1第二号に定める建築物の耐震診断の方法	$I_s = 0.68 \quad (0.60)$ $q = 2.26 \quad (1.00)$	—	—	
9	札幌ANビル	札幌市中央区北2条西1丁目1番地1 他	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1983年版)	$I_s/I_{so} = 1.01 \quad (1.00)$	—	—	
10	札幌グランドホテル東館	札幌市中央区北1条西4丁目2番地3 他	ホテル	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	—	—	大臣認定取得建築物
11	札幌グランドホテル本館	札幌市中央区北1条西4丁目2番地3 他	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.20 \quad (1.00)$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.12 \quad (0.26)$	未定	未定	$Z= 0.9 \quad , \quad G= 1.0 \quad , \quad U= 1.00$
12	札幌東急ビル(東急プラザ札幌)	札幌市中央区南4条西5丁目1番地 他	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)	$I_s/I_{so} = 1.00 \quad (1.00)$ $C_{T \cdot S_D} = 0.43 \quad (0.23)$	—	—	$Z= 0.9 \quad , \quad G= 1.0 \quad , \quad U= 1.00$ 平成19年6月耐震改修済
13	札幌パークホテル本館	札幌市中央区南10条西3丁目11番地4 他	ホテル					
	A・C 棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.18 \quad (1.00)$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.14 \quad (0.25)$	未定	未定	$Z= 0.9 \quad , \quad G= 1.0 \quad , \quad U= 1.00 \quad , \quad R_t= 0.98$
	B 棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.64 \quad (1.00)$ $C_{TU} \cdot S_D = 0.30 \quad (0.26)$	未定	未定	$Z= 0.9 \quad , \quad G= 1.0 \quad , \quad U= 1.00 \quad , \quad R_t= 1.00$

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する 安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
14	定山溪ホテル C、D館	札幌市南区定山溪温泉西4丁目340番地1 他	ホテル			耐震改修	未定	
	C館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.27$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.18$ (0.27)			Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	D館 (1階、4から7階)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.12$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.11$ (0.27)			Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
	D館 (3階)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.40$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.27$ (0.26)			Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00
	D館 (地下)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{so} = 0.58$ (1.00)			
15	定山溪ホテル タワー館	札幌市南区定山溪温泉西4丁目340番地1 他	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.48$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.08$ (0.23)	耐震改修	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00
16	新共済ビル札幌全日空ホテル	札幌市中央区北3条西1丁目2番地1 他	ホテル	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	—	—	大臣認定取得建築物
17	住友生命札幌ビル	札幌市北区北5条西5丁目2番地12	ホテル	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	—	—	
18	東カシマ札幌第2ビル	札幌市中央区南7条西5丁目1番地16	ホテル					
	6階から10階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.61$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 平成29年4月耐震改修済
	1階から5階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 1.03$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.49$ (0.28)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00 平成29年4月耐震改修済
19	ニコービル	札幌市中央区南3条西2丁目13番地 他	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.10$ (0.60) $q = 0.38$ (1.00)	未定	未定	

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■ホテル、旅館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する 安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
20	ホテル鹿の湯 本館(中本館)	札幌市南区定山溪温泉西3丁目34番地 他	ホテル	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.25 \quad (1.00)$ $C_{TU} \cdot S_d = 0.14 \quad (0.26)$	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00 平成30年6月部分的耐震改修実施
21	ホテル法華クラブ札幌	札幌市中央区北2条西3丁目1番地30	ホテル					
	2階から10階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.19 \quad (0.60)$ $q = 0.77 \quad (1.00)$	建替工事	未定	
	1階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.11 \quad (1.00)$ $C_{TU} \cdot S_d = 0.64 \quad (0.27)$			Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■博物館、美術館、図書館

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	札幌市青少年科学館	札幌市厚別区厚別中央1条5丁目493番地30 他	博物館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1997年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_T \cdot S_D = 0.228$ (0.225)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 平成26年2月耐震改修済
2	北海道開拓記念館	札幌市厚別区厚別町小野幌53番地2	博物館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_T \cdot S_D = 0.67$ (0.30)	—	—	平成11年3月耐震改修済
3	北海道立近代美術館	札幌市中央区北1条西17丁目1番地3、北2条西17丁目1番地	美術館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_T \cdot S_D = 0.69$ (0.30)	—	—	

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■遊技場

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する 安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	新和手稲前田ビル	札幌市手稲区前田3条10丁目196番 2 他	遊技場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンク リート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」 (2001年版)	Is/Iso = 1.01 (1.00) CTU・SD = 0.60 (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■飲食店、キャバレー、料理店、ナイトクラブ、ダンスホールその他これらに類するもの

No	建築物の名称		建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する 安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考
							内容	実施時期	
1	G4ビル	1階から10階 及び塔屋	札幌市中央区南6条西4丁目5番地 33 他	飲食店					
					一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」 (2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.24$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.05$ (0.25)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 0.99
		地下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンク リート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」 (2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.61$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.35$ (0.27)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
2	南興ビル(下妻ビル、ソシアルビル含 む)	1階から9階	札幌市中央区南5条西4丁目7番地3 他	飲食店					
					一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」 (2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.37$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.15$ (0.26)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 1.00
		地下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンク リート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」 (2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.44$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.33$ (0.27)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
3	ニューすゝきのビル・グランド桂和ビ ル	5階から9階	札幌市中央区南5条西3丁目10番地	飲食店					
					一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物 の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.13$ (0.60) $q = 0.51$ (1.00)	未定	未定	
		1階から4階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」 (2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.33$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.20$ (0.25)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 0.983
		地下1階、2階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンク リート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2 次診断法」 (2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.22$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.88$ (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
4	パッカスビル	札幌市中央区南5条西4丁目9番地1	飲食店	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コン クリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」 (2009年版)	$I_s/I_{so} = 0.47$ (1.00) $C_{TU} \cdot S_D = 0.19$ (0.23)	耐震改修	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 , Rt= 0.98	

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■自動車車庫その他の自動車又は自転車の停留又は駐車のための施設

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	琴似商店街第一駐車場	札幌市西区琴似1条1丁目35番地13 他	駐車場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	Is = 0.08 (0.60) q = 0.35 (1.00)	未定	未定	

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	札幌運転免許試験場	札幌市手稲区曙5条4丁目94番地1	運転免許試験場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_d = 0.74$ (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 平成25年12月耐震改修済
2	札幌高等・地方裁判所	札幌市中央区大通西11丁目3番地3他	裁判所	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に限る。))に適合するものであることを確認する方法	確認できる	—	—	平成27年9月耐震改修済
3	札幌市本庁舎	札幌市中央区北1条西2丁目	庁舎	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に限る。))に適合するものであることを確認する方法	確認できる	—	—	
4	豊平区役所・保健センター	札幌市豊平区平岸6条10丁目1番地1	庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)、一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_d = 0.69$ (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 平成22年8月耐震改修済
5	東区役所・区民センター	札幌市東区北11条東7丁目1番地	庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(2009年版)	$I_s/I_{so} = 1.05$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_d = 0.28$ (0.28)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 平成26年3月耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
6	北海道庁別館	札幌市中央区北区3条7丁目5番地1	庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1983年版)	$I_s/I_{so} = 1.13$ (1.00)	—	—	
7	北海道庁本庁舎	札幌市中央区北3条西6丁目1番地	庁舎	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に限る。))に適合するものであることを確認する方法	確認できる	—	—	平成28年1月耐震改修済

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	幌東幼稚園	札幌市白石区本郷通3丁目北6番地他	幼稚園	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.69$ (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 平成24年8月耐震改修済
2	札幌第一幼稚園	札幌市豊平区旭町7丁目73番地1	幼稚園	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.12$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.66$ (0.27)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 平成28年8月耐震改修済
3	札幌幼稚園	札幌市東区北24条東18丁目15番地16 他	幼稚園	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.48$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.18$ (0.27)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00
4	西野札幌幼稚園	札幌市西区西野3条2丁目177番地30 他	幼稚園	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.48$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.35$ (0.27)	未定	未定	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する 安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	札幌市立東橋小学校	札幌市白石区菊水8条1丁目34番地11 他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.78$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成23年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
2	札幌市立新札幌わかば小学校	札幌市厚別区厚別南7丁目816番地3	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_d = 0.46$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成26年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
3	札幌市立菊水小学校	札幌市白石区菊水元町2条3丁目1番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.76$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成25年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
4	札幌市立北野小学校	札幌市清田区北野3条2丁目53番地1 他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.05$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.76$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成22年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
5	札幌市立共栄小学校	札幌市厚別区厚別南2丁目21番地1 他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.10$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.80$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成21年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
6	札幌市立清田小学校	札幌市清田区清田1条4丁目97番地他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.05$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.79$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成24年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
7	札幌市立清田南小学校	札幌市清田区清田5条2丁目161番地12	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.75$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成24年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
8	札幌市立幌西小学校	札幌市中央区南10条西17丁目1408番地12 他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.40$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成22年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
9	札幌市立幌南小学校	札幌市中央区南21条西5丁目1番地4 他、南21条西6丁目1082番地4、中央区南20条西6丁目1077番地3 他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.35$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成27年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
10	札幌市立幌北小学校	札幌市北区北19条西2丁目21番地148	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.05$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.79$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成22年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
11	札幌市立琴似小学校	札幌市西区琴似2条7丁目472番地2 他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.08$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.36$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成19年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
12	札幌市立琴似中央小学校	札幌市西区八軒7条東1丁目532番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.05$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.80$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成26年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
13	札幌市立栄北小学校	札幌市東区北47条東6丁目824番地58 他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.45$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成22年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する 安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
14	札幌市立栄東小学校	札幌市東区北46条東13丁目1番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.79$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成24年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
15	札幌市立栄南小学校	札幌市東区北37条東20丁目4番地他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.74$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成22年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
16	札幌市立札幌小学校	札幌市東区伏古1条2丁目1番地6他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.75$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成26年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
17	札幌市立篠路西小学校	札幌市北区篠路5条2丁目39番地331	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.08$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.83$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成22年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
18	札幌市立白石小学校	札幌市白石区本通1丁目北52番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.08$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.82$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成25年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
19	札幌市立新光小学校	札幌市北区新琴似1条12丁目117番地4 他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.75$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成24年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
20	札幌市立新琴似西小学校	札幌市北区新琴似11条15丁目1136番地5	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.76$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成21年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
21	札幌市立新琴似緑小学校(校舎A)	札幌市北区新琴似10条11丁目959番地4	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{so} = 1.04$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.48$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 法第5条第3項第1号※2
22	札幌市立新琴似緑小学校(校舎B)	札幌市北区新琴似10条11丁目959番地4	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.14$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.89$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 法第5条第3項第1号※2
23	札幌市立新琴似南小学校	札幌市北区新琴似1条3丁目30番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.60$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成26年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
24	札幌市立太平小学校	札幌市北区篠路1条2丁目1番地38他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.12$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.85$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成24年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
25	札幌市立月寒小学校	札幌市豊平区月寒西1条4丁目562番地、2条5丁目339番地7 他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.12$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.85$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成24年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
26	札幌市立手稲中央小学校	札幌市手稲区手稲本町3条2丁目1番地11	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.08$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.82$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成21年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
27	札幌市立手稲山口小学校	札幌市手稲区曙11条2丁目41番地19	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.52$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成27年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する 安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
28	札幌市立豊平小学校	札幌市豊平区豊平5条7丁目30番地59	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.75$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成23年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
29	札幌市立屯田南小学校	札幌市北区屯田5条4丁目274番地6	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.38$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 法第5条第3項第1号※2
30	札幌市立苗穂小学校	札幌市東区北9条東12丁目8番地、東13丁目1番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.04$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.64$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成24年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
31	札幌市立西岡小学校	札幌市豊平区西岡2条9丁目306番地2	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.35$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成21年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
32	札幌市立西岡南小学校	札幌市豊平区西岡4条12丁目404番地75	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{so} = 1.07$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.41$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 法第5条第3項第1号※2
33	札幌市立西小学校	札幌市西区発寒7条13丁目728番地3 他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.07$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.43$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成24年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
34	札幌市立西白石小学校	札幌市白石区中央3条5丁目6番地他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.43$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成25年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
35	札幌市立西野小学校	札幌市西区西野8条4丁目478番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.79$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成26年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
36	札幌市立西野第二小学校	札幌市西区西野8条7丁目743番地2 他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.32$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成27年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
37	札幌市立日新小学校	札幌市中央区北8条西25丁目13番地	小学校	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	—	—	法第5条第3項第1号※2
38	札幌市立白楊小学校	札幌市北区北24条西7丁目22番地115	小学校	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	—	—	法第5条第3項第1号※2
39	札幌市立八軒小学校	札幌市西区八軒4条西1丁目74番地2 他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.74$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成20年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
40	札幌市立ひばりが丘小学校	札幌市厚別区厚別中央2条4丁目3番地1 他、もみじ台東4丁目5番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.31$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成24年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する 安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
41	札幌市立福井野小学校	札幌市西区福井6丁目51番地5	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.05$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.36$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成25年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
42	札幌市立伏古小学校	札幌市東区伏古8条5丁目2番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.40$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成24年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
43	札幌市立平和通小学校	札幌市白石区本通15丁目北33番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.10$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.82$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成22年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
44	札幌市立北都小学校(校舎A)	札幌市白石区北郷3条11丁目14番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.78$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成24年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
45	札幌市立北都小学校(校舎B)	札幌市白石区北郷3条11丁目14番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.78$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成24年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
46	札幌市立北陽小学校(校舎A・屋連)	札幌市北区北31条西9丁目95番地7他、北32条西8丁目97番地20	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.34$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成26年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
47	札幌市立北陽小学校(校舎B)	札幌市北区北31条西9丁目95番地7他、北32条西8丁目97番地20	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.10$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.84$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成26年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
48	札幌市立北光小学校	札幌市東区北12条東6丁目5番地8他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.66$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成21年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
49	札幌市立前田小学校	札幌市手稲区前田6条11丁目378番地2 他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.81$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成23年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
50	札幌市立前田北小学校	札幌市手稲区前田10条15丁目8番地、前田10条18丁目654番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{so} = 1.10$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.31$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 法第5条第3項第1号※2
51	札幌市立真駒内公園小学校	札幌市南区真駒内曙町2丁目1番地1、5	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.79$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成23年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
52	札幌市立真駒内桜山小学校	札幌市南区真駒内泉町3丁目13番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.67$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成23年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
53	札幌市立美香保小学校	札幌市東区北18条東6丁目94番地70 他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.77$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成26年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
54	札幌市立みどり小学校	札幌市豊平区美園6条1丁目1番地1、美園6条2丁目1番地 他、美園5条1丁目7番地1、美園5条2丁目20番地1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.49$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成26年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
55	札幌市立南月寒小学校	札幌市豊平区月寒西3条8丁目473番地2、月寒西4条8丁目5番地18 他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.05$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.86$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成24年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
56	札幌市立明園小学校	札幌市東区北19条東14丁目1番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.04$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.78$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成21年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
57	札幌市立山鼻小学校	札幌市中央区南14条西10丁目1790番地2 他	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.75$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成25年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
58	札幌市立柏中学校	札幌市中央区南21条西5丁目1番地1 他、21条西6丁目1084番地3 他	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.77$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成24年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
59	札幌市立北野中学校	札幌市清田区北野2条3丁目129番地2 他	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.30$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成20年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
60	札幌市立幌東中学校(校舎・屋連A)	札幌市白石区菊水6条3丁目12番地2	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.75$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成24年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
61	札幌市立幌東中学校(校舎B)	札幌市白石区菊水6条3丁目12番地2	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.76$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成24年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
62	札幌市立光陽中学校	札幌市北区新琴似4条11丁目226番地10、新琴似4条12丁目230番地3	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.75$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成26年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
63	札幌市立向陵中学校	札幌市中央区北4条西28丁目375番地19、94	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.74$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成21年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
64	札幌市立琴似中学校	札幌市西区山の手4条2丁目1番地、山の手4条3丁目1番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.10$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.74$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成20年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
65	札幌市立栄南中学校	札幌市東区北36条東16丁目477番地3 他	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.76$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成24年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
66	札幌市立札幌中学校	札幌市東区東苗穂7条1丁目594番地1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.75$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成25年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する 安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
67	札幌市立白石中学校	札幌市白石区本郷通6丁目南1番地1、3	中学校	建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	—	—	法第5条第3項第1号※2
68	札幌市立新川中学校	札幌市北区新川4条2丁目464番地5、新川4条3丁目464番地6	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.75$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成24年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
69	札幌市立新琴似北中学校	札幌市北区新琴似10条10丁目949番地2 他	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.38$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成21年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
70	札幌市立新琴似中学校	札幌市北区新琴似7条4丁目668番地1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.77$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成21年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
71	札幌市立澄川中学校	札幌市南区澄川6条6丁目390番地54 他	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.79$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成23年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
72	札幌市立太平中学校	札幌市北区太平8条2丁目1番地1 他	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.72$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成27年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
73	札幌市立手稲東中学校	札幌市西区西野2条4丁目67番地1 他	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.07$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.82$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成26年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
74	札幌市立稲陵中学校	札幌市手稲区曙7条2丁目17番地28 他	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.77$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成26年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
75	札幌市立屯田中央中学校	札幌市北区屯田6条8丁目1番地1 他	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.80$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 法第5条第3項第1号※2
76	札幌市立西野中学校	札幌市西区西野8条7丁目815番地2 他、西野9条7丁目814番地 他	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.75$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成25年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
77	札幌市立八条中学校	札幌市豊平区豊平8条13丁目6番地 他	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.77$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 法第5条第3項第1号※2
78	札幌市立発寒中学校	札幌市西区発寒5条7丁目578番地15	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.77$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成21年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
79	札幌市立東月寒中学校	札幌市豊平区月寒東3条18丁目229番地1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2017年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.35$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 法第5条第3項第1号※2
80	札幌市立北辰中学校	札幌市北区北18条西2丁目21番地50 他	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.11$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.87$ (0.30)	—	—	$Z= 1.0$, $G= 1.0$, $U= 1.00$ $I_{so}= 0.7$ 平成25年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程若しくは特別支援学校

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の 主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する 安全性の評価の結果(目標値)※1	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
81	札幌市立北都中学校	札幌市白石区川下641番地38 他	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.44$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成26年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
82	札幌市立真駒内中学校	札幌市南区真駒内幸町3丁目1番地2	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.65$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成21年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
83	札幌市立美香保中学校(校舎A・屋 運)	札幌市東区北17条東6丁目2番地11	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.04$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.60$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成22年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
84	札幌市立美香保中学校(校舎B)	札幌市東区北17条東6丁目2番地11	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.78$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成22年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
85	札幌市立藻岩中学校	札幌市南区川沿7条3丁目1634番地8 他	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.31$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成20年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
86	札幌市立元町中学校	札幌市東区北28条東20丁目1番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.75$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 法第5条第3項第1号※2
87	札幌市立もみじ台中学校	札幌市厚別区もみじ台西1丁目1番地1 他	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.02$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.78$ (0.30)	—	—	Z= 1.0 , G= 1.0 , U= 1.00 Iso= 0.7 平成22年耐震改修済 法第5条第3項第1号※2
88	星槎もみじ中学校校舎	札幌市厚別区もみじ台北5丁目12番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.06$ (1.00) $C_{Tu} \cdot S_D = 0.71$ (0.27)	—	—	Iso= 0.7 平成31年耐震改修済
89	北海道星置養護学校	札幌市手稲区星置3条8丁目291番地1	特別支援 学校			—	—	
	校舎棟(1)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.58$ (1.00) $C_{T \cdot S_D} = 1.35$ (0.30)	—	—	
	校舎棟(2)			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{so} = 1.17$ (1.00)	—	—	

※1 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

※2 建築物の耐震改修の促進に関する法律第5条第3項第1号の要安全確認計画記載建築物

■老人福祉センター、児童厚生施設、身体障害者福祉センターその他これらに類するもの

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	札幌市子ども発達支援総合センターB棟	札幌市豊平区平岸4条18丁目909番地1の内	児童厚生施設	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	Is/Iso = 1.00 (1.00) CTU・SD = 0.73 (0.34)	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.25 平成26年3月耐震改修済

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。

■老人ホーム、老人短期入所施設、福祉ホームその他これらに類するもの

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果(目標値)※	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	アイムス旭山公園	札幌市中央区双子山4丁目	老人ホーム	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00 \quad (1.00)$ $C_{Tu} \cdot S_D = 0.57 \quad (0.27)$	—	—	Z= 0.9 , G= 1.0 , U= 1.00 平成21年8月耐震改修済

※ 「構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果」欄における括弧書きは、附表の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価(Ⅲ 地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い)を判定するための数値です。